

穴吹特別講義について（平成28年度実施分）

鳥取大学農学部共同獣医学科 獣医繁殖学教室 教授 菱沼 貢

鳥取大学農学部の共同獣医学科は、穴吹動物看護カレッジ（高松校）および穴吹動物専門学校（福山校）と教育業務提携を結んでいます。これにより、穴吹高松校と福山校の学生が、毎年5月に鳥取大学農学部附属動物医療センターで動物高度二次診療実習を受講しています。また、前期に基礎系、後期に臨床系の鳥取大学の教員が穴吹高松校と福山校で特別講義として講義と実習を実施しています。臨床系では、画像診断学、臨床検査学、繁殖学のローテーションで穴吹特別講義を担当しています。今回は、平成25年度実施分に引き続き、穴吹特別講義の内容を紹介します。

平成28年度後期の特別講義は繁殖学の担当で、私が高松校（10月13日）と福山校（10月20日）で講義（午前）と実習（午後）を実施しました。参加学生は、高松校では午前は動物看護総合学科1～3年生と動物衛生看護学科1・2年生の計50名、午後は動物看護総合学科2・3年生の20名、福山校では動物看護総合学科1～2年生の34名でした。講義（1～3時間目）では、パワーポイントやビデオを使用して臨床繁殖学、特に雌犬と雄犬の生殖器解剖、繁殖生理、犬の人工授精を解説しました。今回は、生殖器の模型を多数作製して持参し、講義の内容を模型を使って直ちに復習できるように工夫しました。実習（4～6時間目）では、臨床繁殖学実習として超音波診断装置の操作、豚の卵巣と卵管の解剖、豚卵子と牛精子の観察を行いました。高松校、福山校ともに、学生は積極的に授業に参加していました。

授業支援スタッフとして特別講義にご協力いただいた、高松校教務部の林動物看護師、福山校教務部の田上獣医師、西村動物看護師、西川動物看護師に感謝いたします。

写真1 高松校校舎外観



写真2 講義室（高松校）

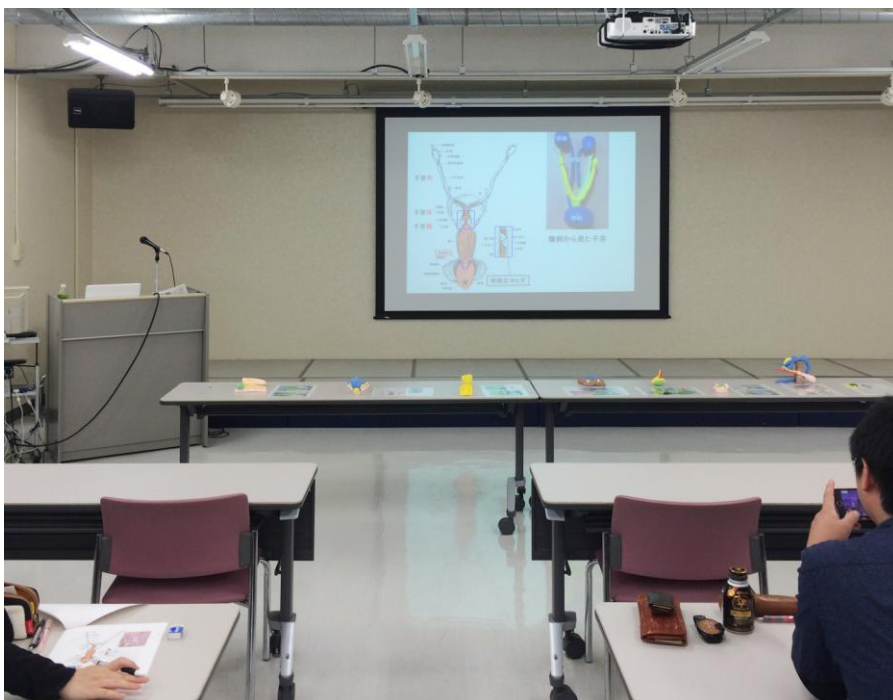


写真3 講義に使用した生殖器の模型（高松校）

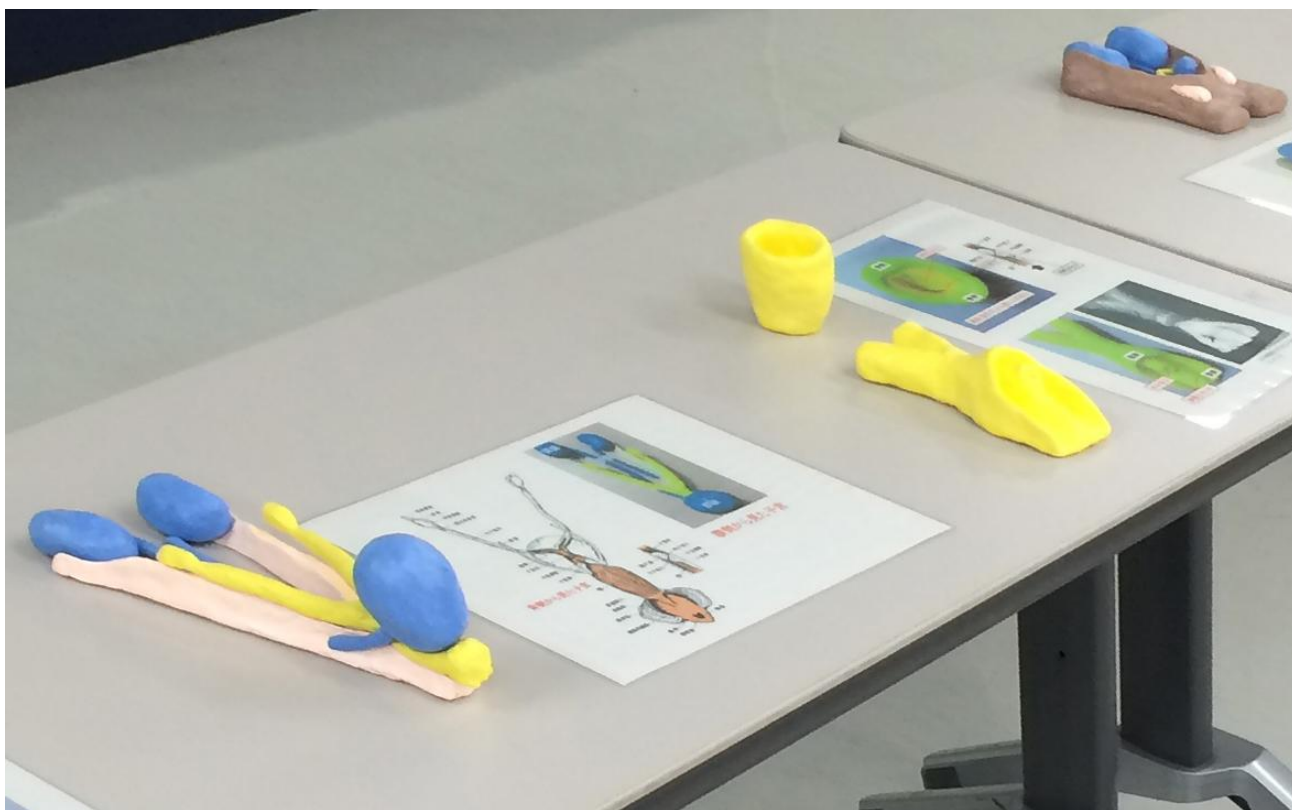


写真4 講義風景（福山校）



写真5 顕微鏡を使用した実習風景（福山校）

